

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公表番号】特表2008-537537(P2008-537537A)

【公表日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2008-037

【出願番号】特願2007-555158(P2007-555158)

【国際特許分類】

C 07 K	7/06	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 K	9/08	(2006.01)
A 61 K	9/107	(2006.01)
A 61 K	9/06	(2006.01)
A 61 K	9/12	(2006.01)
A 61 K	9/14	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
A 61 P	31/10	(2006.01)
A 01 N	37/46	(2006.01)
A 01 P	3/00	(2006.01)
A 01 N	25/12	(2006.01)
A 01 N	25/04	(2006.01)
A 01 N	25/02	(2006.01)
A 01 N	25/06	(2006.01)
A 01 N	25/16	(2006.01)
C 07 K	1/113	(2006.01)

【F I】

C 07 K	7/06	Z N A
A 61 K	37/02	
A 61 K	9/08	
A 61 K	9/107	
A 61 K	9/06	
A 61 K	9/12	
A 61 K	9/14	
A 61 P	31/04	
A 61 P	31/10	
A 01 N	37/46	
A 01 P	3/00	
A 01 N	25/12	
A 01 N	25/04	1 0 1
A 01 N	25/04	1 0 3
A 01 N	25/02	
A 01 N	25/06	
A 01 N	25/16	
C 07 K	1/113	

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月4日(2009.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヘキサペプチド構造が式XBXB0Bで表され、1位及び3位に親水性荷電残基(X)、2位、4位及び6位に疎水性残基(B)、並びに、5位にナフチルアラニン、脂肪族又は芳香族の残基(O)を有する抗微生物ヘキサペプチド。

【請求項2】

Xはアルギニン(R)及びリジン(K)からなる群から選択され、Bはフェニルアラニン(F)及びトリプトファン(W)からなる群から選択され、Oはナフチルアラニン(NaI)、プロリン(P)及びフェニルアラニン(F)からなる群から選択される請求項1のヘキサペプチド。

【請求項3】

ナフチルアラニン(NaI)は、1-NaI-OH(U)又は2-NaI-OH(Z)である請求項2のヘキサペプチド。

【請求項4】

ヘキサペプチドは、KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:1)、KWRWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:2)、KWKWFH-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:3)、RWRWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:4)、KFKWFH-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:6)、RFKWFH-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:7)、OCT-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:55)、OCT-KWKWFH-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:56)、KWKWFH-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:62)、及びKWKWZW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:63)からなる群から選択される請求項3のヘキサペプチド。

【請求項5】

ヘキサペプチドはSEQ ID NO:1である請求項1のヘキサペプチド。

【請求項6】

ヘキサペプチドは脂質又はアミド基で修飾されている請求項1のヘキサペプチド。

【請求項7】

脂質はヘプタン酸、ノナン酸、ラウリン酸、ミリスチン酸、デカン酸、ペントデカン酸、ウンデカン酸、トリデカン酸及びオクタン酸からなる群から選択される請求項6のヘキサペプチド。

【請求項8】

ヘキサペプチドは、Hep-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:69)、Non-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:70)、Lau-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:72)、Myr-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:77)、Pen-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:78)、Und-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:79)、Tri-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:80)、Oct-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:81)、Lau-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:83)、及びOct-KFKWPW-NH<sub>2</sub> (SEQ ID NO:84)からなる群から選択される請求項7のヘキサペプチド。

【請求項9】

請求項1のヘキサペプチドと、医薬的に許容されるキャリアとを含む組成物。

【請求項10】

ヘキサペプチドは水溶液に可溶である請求項9の組成物。

【請求項11】

5位はプロリン(P)である請求項1又は2のヘキサペプチド。

【請求項12】

4位はトリプトファン(W)、5位はプロリン(P)、6位はトリプトファン(W)である請求項1又は2のヘキサペプチド。

【請求項13】

ヘキサペプチドはSEQ ID NO:72である請求項2のヘキサペプチド。

【請求項14】

ヘキサペプチドはSEQ ID NO:79である請求項2のヘキサペプチド。

【請求項15】

ヘキサペプチドはSEQ ID NO:85である請求項2のヘキサペプチド。

**【請求項 1 6】**

薬剤として用いられる請求項 1 乃至 1 5 の何れかに記載のヘキサペプチド。

**【請求項 1 7】**

細菌又は真菌によって引き起こされる微生物感染の治療又は予防に用いられる請求項 1 乃至 1 5 の何れかに記載のヘキサペプチド。